

令和4年2月1日

国公立医科大学長
国公立大学医学部長 殿
各関係機関長

日本医科大学
学長 弦間 昭彦
[公印省略]

日本医科大学 大学院医学研究科 循環器内科学分野
大学院教授候補者の推薦について（公募延長）

謹啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、今般、本学大学院医学研究科 循環器内科学分野大学院教授について、全国公募を延長し選考することと致しました。

貴学、貴学部、貴施設または国外も含め、関係方面に適任の方がおられましたら、下記によりご推薦いただきたくお願い致します。

なお、本学においては、任期制（任期5年：再任可）を導入しておりますことを、予めご承知おきください。

敬 具

記

提出書類等 別紙のとおり

発 令 日 令和4年4月1日以降、できるだけ早い時期

- そ の 他
- (1) 本案内は、公募期間を令和4年1月7日（金）までに設定していたところを、延長して募集するものです。これにより、発令日も上記のとおりとなります。
 - (2) 日本医科大学大学院医学研究科循環器内科学分野大学院教授は、医学部学科目である内科学(循環器内科学)の教育を担当します。

以 上

提出書類等

※1 下記の(1)～(10)全てをPDFファイルにし、CDに入れて提出。

※2 下記の(1)～(10)のPDFファイルを作成する基にした原本(別刷を含む)を、各1部提出。なお、原稿は全て片面印刷をお願いします。

※年月日はすべて西暦で記載のこと。

(1) 推薦書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ (別紙様式1-1～2)

※ 推薦者については、本学の大学院教授、他大学の学長、医学研究科長若しくは医学部長又はその他の機関の長になります。

(2) 履歴書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ (別紙様式2-1～2)

※ 上記(1)(2)の様式は、それぞれの枠には拘らず、記入範囲は応募者の判断にて作成し、西暦で記載すること。

(3) 科学研究費、その他の助成金の受領状況、特許等知的財産の取得・申請状況を説明するリスト・・・・・・・・・・・・・・・・ (A4版, 様式自由)

※ 「科学研究費等の記載に関する注意」を参照のこと。

(4) 業績目録・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ (A4版, 様式自由)

※ 「業績目録の記載に関する注意」を参照のこと。

(5) 「教育」に関する実績と抱負・・・・・・・・ (別紙様式3-1～2)

(6) 「研究」に関する実績と抱負・・・・・・・・ (別紙様式4-1～2)

(7) 「臨床」に関する実績と抱負・・・・・・・・ (別紙様式5-1～2)

(8) 「分野(教室)運営」に関する抱負・・・・・・・・ (別紙様式6)

(9) 社会貢献について・・・・・・・・・・・・・・・・ (別紙様式7)

(10) 別刷・・・・・・・・論文のうち特に代表的なものの別刷5編(コピー可)。

※ 原則として、提出書類の返却はいたしません。

※採用時には、健康診断書(胸部X-Pを含む)を提出願います。

※様式につきましては、本学ホームページトップからダウンロード可能です。

※提出期限 令和4年3月22日(火) 午後5時まで(必着)

※提出先 〒113-8602 東京都文京区千駄木1-1-5
日本医科大学事務局 学事部庶務課 庶務課長 内山 聰二
TEL 03-5814-6739 (直通)
FAX 03-3822-8575 E-mail : uchiyama-s@nms.ac.jp

(様式1-1)

年 月 日

日本医科大学
学長 弦間昭彦 殿

推薦者の所属 _____

推薦者の職名 _____

氏 名 _____ 印

推 薦 書

候補者の所属 _____

現 職 名 _____

氏 名 _____

(推薦理由)

(様式1-2)

(様式2-1)

写真貼付

(裏に氏名記入)

3ヶ月以内に撮影した
正面上半身無帽の写真

縦4cm×横3cm

履 歴 書

ふりがな 氏 名		男女	生年月日 (西暦)	年 月 日 (歳)
本籍地				
現住所	〒		TEL	E-mail
学 歴 (高校入 学以降)	年 月	高等学校 入学		
	年 月	高等学校 卒業		
	年 月	大学 学部 入学		
	年 月	大学 学部 卒業		
	年 月	大学大学院 研究科 入学		
	年 月	大学大学院 研究科 修了		
医師免許 取得	年 月 日	(第 回医師国家試験合格)		
	年 月 日	医師免許医籍登録番号 (号)		
学 位	年 月 日	学位を授与される 医学博士 (大学)		
	年 月 日	学修士・ 学博士 (大学)		
職 歴 および 研究歴				

(様式2-2)

職歴 および 研究歴	
現在の所 属学会名	
学会役員	
賞罰	

上記のとおり相違ありません。

年 月 日

署名

印

科学研究費等の記載に関する注意

※下記を参考に、書類を作成願います。

※これまでに受けた研究費等

これまでに受けた研究費（科研費、所属研究機関より措置された研究費、府省・地方公共団体・研究助成法人・民間企業等からの研究費等。なお、現在受けている研究費も含む。）のうち、科研費とそれ以外の研究費に分けて、次の点に留意し記述してください。

- ①それぞれの研究費毎に、研究種目名（科研費以外の研究費については資金制度名）、期間（年度）、研究課題名、研究代表者又は研究分担者の別、研究経費（直接経費）を記入してください。
- ②科研費とそれ以外の研究費は線を引いて区別して記述してください。

※記載例

■○○○○省××××研究費助成事業 等

1. ○○○○～××××年度 研究種目又は研究課題名 等
研究代表者：○○ ○○
研究分担者：×× ××
直接経費総額： 万円
2. ○○○○～××××年度 研究種目又は研究課題名 等
研究代表者：○○ ○○
研究分担者：×× ××、△△ △△
直接経費総額： 万円

■民間助成金 等

1. ○○○○年度 ××財団 研究助成金
研究代表者：○○ ○○
研究分担者：×× ××、△△ △△
研究費総額： 万円
2. ○○○○年度 ××財団 研究助成金
研究代表者：○○ ○○
研究分担者：×× ××、△△ △△
研究費総額： 万円

業績目録の記載に関する注意

論文、著書、学会発表に区分し、それぞれ新しいものより年代順（西暦で表示）に番号を付け記載し、本人の氏名にはアンダーラインを付すこと。

① 論文は次のように区分する。

(注) 別刷を提出するものには番号を○で囲むこと。

(イ) 欧文原著 (ロ) 欧文症例報告 (ハ) 欧文総説

(ニ) 和文原著 (ホ) 和文症例報告 (ヘ) 和文総説

② 著書は単著、共著、分担執筆の別に区分する。

③ 学会発表は、国内外に区別し、特別講演、シンポジウム、一般演題（代表的なもののみ）等に区分する。

【記載様式】

① 論文：論文の全著者名、発行年、題名、雑誌名、巻、初頁—最終頁を記載する。なお、著者名欄には、著者の氏名を掲載順に従って全て記載すること。

(例) Julius M, Simpson E, Herzenberg L. (1973) A rapid method for the isolation of functional thymus-derived lymphocytes. *Eur. J. Immunol.* 3:645-649.

② 著書：著者名、発行年、題名、著書名（分担執筆の場合は編者名）、版、初頁—最終頁、出版社名、（出版社所在地）を記入する。

(例) Pink JRL, Lassila O, Vainio O. (1987) B-lymphocytes and their self-renewal. In *Avian Immunology*. Toivanen A, Toivanen P, eds. CRC Press Inc.(Boca Raton, FL). 65-78.

③ 学会発表：発表者名（5名までの場合は全員の氏名を記載する。5名を超える場合は、筆頭発表者のみの名前を記載した後、申請者が全発表者の何番目に相当するかを示すこと。）また、演題名、学会名（場所）、発表年月を記入すること。

(例) Takaku S, *et al.* (6th out of 6): Induction and analysis of cytotoxic T lymphocytes against hepatitis C virus (HCV) structural antigens using HCV transgenic mice with Cre/Lox-P switching expression system. 11th International Congress of Immunology (Stockholm, Sweden). July, 2001.

※ ① ワープロ又はタイプ印刷とすること。

② 印刷中の業績については、印刷中と明記し掲載証明書を添付すること。

(様式3-1)

「教育」に関する実績と抱負

(1) 教育歴 (①卒前教育において担当した内容及び時間, ②卒後教育において研修医・研究生・大学院生に対しての学会・論文指導等の実績について)

(2) 医学教育関連の研修会・ワークショップ等への参加状況

名 称	場 所	日 時
-----	-----	-----

.

.

.

(様式3-2)

(3) 今後の医学教育に対する抱負

[卒前教育]

[卒後教育]

(様式4-1)

「研究」に関する実績と抱負

(様式4-2)

(様式5-1)

「臨床」に関する実績と抱負

1. 診療科目 ()
 専門領域 ()

2. 診療経験 _____ 年 _____ ヶ月

3. 診療回数 _____ 回/週
 (専門外来) _____ 外来
 _____ 回/週、月
 _____ 外来
 _____ 回/週、月

4. 専門医・指導医・認定医

5. 「臨床」に関する具体的な実績

(様式5-2)

6. 「臨床」に関する抱負

(様式6)

「分野（教室）運営」に関する抱負

(様式7)

社会貢献について

1. 公的機関に関連した活動（厚生労働省、文部科学省等）

2. その他